

Shinsaibasi Reform

Magazine

vol.8

The future
of
the
fashion



靴に合わせた着こなし

The future of the fashion VOL.8

SHOES DESIGNER 坪内 浩氏

これからファッションは
どう深化してゆくのか？

様々な角度からその未来を探る

The future of the fashion

今回はシューズデザイナーの坪内浩氏にお話を伺いました。

靴の企画・デザイン、インポートブランドの開発、バイイング、企画部門の責任者などを務め、多くの実績を残してきた靴業界の大御所。2008年には自らの名を冠した「HIROSHI TSUBOUCHI」をスタート。デザイナー自身が履きたい靴をつくるというコンセプトを基本に、クラシックながら遊びの精神が宿るデザインの数々は瞬く間に評判となる。またイギリスやアメリカのアーカイブやテイストをベースに日本人ならではの自由な発想を加えたデザインは海外でも高い評価を得ている。ファッション業界屈指のお洒落人としても知られる同氏に靴に合わせた着こなしをご指南いただきます。



Q 坪内さんがお洒落なのは誰の目にも明らかですが、巷のお洒落人とはベクトルが違うと思うのです。まずはお洒落をするうえでのエレメントをお聞きかせ頂けますか。

坪内__そうですね。私の場合は既製服が多いのです。もちろんビスポークを含め、クラシッくな服も好きですが、少しでもデザイン性のある服が好きなのです。概ねそれはデザイナーがクリエイトする服に例えることができます。なぜ既製服好きなのかというとビスポークでの誂えだあまりにも自分の好みが反映し過ぎるきらいがあるので少し恥ずかしいのです。そんな訳でビスポークで服を誂えるのはもう少し年をとるまでとてであるのです(笑)。今はまだデザイナーが作る服をどう着こなせるかに挑戦したいですね。挑発的なデザインを自分ならでの視点でどう着るか？そこが楽しいところです。

Q なるほど。デザイナーの個性と着る人の個性のぶつかり合い!!これがお洒落の醍醐味ですね!!坪内さんがお召しになられているものはブランドのレットルがまるでない、確固たるオリジナリティを感じさせます。

Q 今回は靴に合わせた着こなしをご指南頂きたいと思います。

坪内__最初は「M'S BRAQUE」のスーツで、ブラウンベースにブルーのウインドゥペーンが施されています。丸みを帯びたラベルが特徴のS1Bです。シャツはラウンドカラーのクレリックシャツでタイはブルーのグラデーションカラーに彩られたストライプを合わせました。このスタイルに合わせたのは「ダブルエイチ」のウイングチップです。ダブルエイチはファッション・ディレクターの干場義雅さんとのコラボブランドで、基本的なコンセプトはスニーカーのように軽快に履ける靴。ご覧の通りアッパーは英国的な雰囲気ですが、ソールは発泡しているラバーを使っていますので、軽量でクッション性に長けています。また中はカップインソールですので、履きやすさに加え、足長効果も期待できます。現代のシークレットシューズです。(笑)



Q つまりドレス的な表情を踏まえつつ、
ほんのリスポーティという提案ですね。



価格4万6000円(税別)WH

The future of the fashion

坪内__次はボトムだけを変えます。実はこのスーツを眺めるときパンツは太いほうが合うと思ったのですが、細いのが履きたいときもあるだろうと思い、シルエット違いで2本オーダーしたのです。

Q 大手量販店でいうところのツーパンツの仕様ですね(笑)でもこの発想はいいですね。大体パンツのほうが傷みますしね。何れにしてもパンツを変えると印象が大きく変わりますよね。

坪内__太いパンツとはいえ、今時のキャロットシルエットではなく、バギーパンツです。イメージは60~70年代のコンチネンタルです。

Q いいですね!!

坪内__バギーパンツのクラシックな雰囲気に合わせて靴もクラシカルな表情のものを選びました。デザインはウイングチップですが、メダリオンに少し変化を持たせ、トゥに丸みを持たせたソフトスクエアに仕上げました。



このデザインは60～70年代に使われた木型を参考にしていますから今どきの靴と比べると全く趣が違うのが解ると思います。

Q 確かに!!ところでバギーパンツは足が短く見えがちですよ。そう見えないように当時は高いソールのものが選ばれていました。

坪内__ヒールは3cm程度とちょっと高めの設定にしています。とはいえ普通に履けないと意味がありませんからこのくらいの塩梅がいいと思います。



価格5万5000円(税別) HIROSHI TSUBOUCHI

Q 次のスタイリングはグラムですか？

坪内__ジャケット、シャツ、パンツともに「MANDO」のものです。ベルベットのジャケットに、フリルシャツの組み合わせですからそういう風に見えるかもしれません。確かに60～70年代のロンドンの音楽、カルチャーシーンは自分の中で、最も強い影響を受けた時代です。そういう意味ではそうした一面を無意識に覗かせているのかもしれませんが。とはいえ、合わせたボトムはイージーパンツですから極めてカジュアルで今どきともいえます。



Q 靴の選択が難しいところですね。

坪内__デザインはウイングチップですが、全体的にボリューム感のあるプロポーションに仕上がっています。トゥに丸みを持たせ、ソールも厚くしていますからモード的といえましょう。とはいえ、作りはグッドイヤーですからクッション性にも耐久性にも長けます。大人のオデコ靴ですね。(笑)



価格4万3000円(税別) HIROSHI TSUBOUCHI



坪内_次は同じ着こなしを踏襲し、靴だけで印象を変えてみたいと思います。選んだのはスニーカータイプ、とはいえ一般的なスニーカーだと目立ちすぎますから、お勧めしたいのは革靴とスニーカーの中間に位置するようなもの。大人はエレガントな要素を残すことが肝心要です。黒のアップーはビジネスでも使えますが、白のラバーソールをコンビ使いにすることでスポーティな印象になるのが見て取れると思います。またこの靴は紐を解かなくてもスリップオンのように履けるよう甲の部分にネオプレンを使っています。スマートに着脱ができて便利だと思います。



価格3万3000円(税別) HIROSHI TSUBOUCHI

The future of the fashion

目鱗の提案!! 激新でした。
靴と服の関係を改めて見直す機会に
なったと思いますが如何でしょう。

次号もシューズデザイナーの坪内浩氏に
靴にまつわる着こなしを御享受いただきます。
どうぞお楽しみに。

取材協力 **オリエンタルシューズ**

TEL : 03-6804-3280

URL : www.oriental-shoes.co.jp

www.hiroshi-tsubouchi.com